

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI南千住教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2025年 12月6日		2025年 12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画に沿った支援が行われている	事業所内でミーティングやモニタリング、話し合い等を行ったうえで保護者様との面談をし、計画を作成している	事業所内での方針と保護者様・お子さまのニーズをすり合わせ、それぞれの成長を促せるようなプログラムを考えていく
2	職員からの共感的支援が行われている	見学をしていただいている保護者様には、一斉フィードバック内でお話しできていない普段の細かい様子や、課題感などをお伝えしたうえで保護者様からもお話を聞くようにしている	課題感や成長に対しての情報共有を行うだけでなく、保護者様の悩みや取り組んでいること等も話しやすい環境を作っていく
3	活動スペースが十分に確保されている	お子さまが安全に活動ができるよう、角や隙間には怪我防止対策をしている お子さまが楽しく活動に取り組めるよう、広い空間を使って走ったり、道具を出して運動したりできるようなプログラムを作っている	広いスペースを有効活用できる運動内容を考えて、プログラムに取り入れていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さまの特性等に応じた専門性のある支援	専門職ではないスタッフや新しいスタッフが多く在籍しているため、お子様への十分な理解、専門性が高い支援が充分ではなかった	事業所内での研修を増やし、専門性を高めていくことやお子さまへの理解を深めるためのミーティングを十分に行っていく
2	活動プログラムの固定化がされないような工夫	基礎的な動きの定着を目指していた為、運動内容の基本的な流れは固定させていた	運動内容に対して、段階の踏み方は固定しつつも動きに対するアプローチを様々な角度で行っていく イベントの期間を使って、お子さまが楽しんで通所していただけるようプログラムの設定を考えていく
3	家族に対しての家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族なども参加できる研修会や情報提供の機会などが少ない	親子イベントの開催はあったが、行う回数が少なかった 営業時間内で、家族支援プログラムや家族なども参加できる研修会や情報提供の機会などを考える時間が作りづらかった	ご家庭で親子で一緒に取り組める体操や運動の提供を検討する 親子イベントの機会を増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI南千住教室
------	-------------

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 47

回収数 : 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	3	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2	0	2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	3	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	0	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	1	6	保護者同士の交流の様な事が苦手なので そういったイベントはなくて良いです。 いつも同じ時間でお会いする保護者の方 とは時々お話できるので、その位で十分 です。	貴重なご意見、ありがとうございます。 まずは親子イベントやきょうだい児も参 加ができるイベントの企画を検討してい きます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	3	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	1	0	とても楽しみにしています。	貴重なご意見、ありがとうございます。引き続き、楽しんで通っていただけるよう支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI南千住教室	公表日	2026年 2月 28日
------	-------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除、消毒を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	あまり事例はないが、必要に応じて使用する	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		指導員の話も聞いたうえで作成を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		面談の内容と併せて、支援計画が常に共有でき支援に生かしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		日々の行動観察が主な手段であり、フォーマルなアセスメントの使用はほとんどない 標準化されたアセスメントツールはないので、作成を検討
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		イベントを始めとして普段の活動も含め、個人で考えたものをすり合わせながらチームでやっている 毎月のイベントの案をスタッフで話している	

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		イベントの実施を増やし、楽しんで参加ができるようスケジュールを組んでいる 基本的なプログラムは運動機能の定着のために固定をしているが、創作やイベントで変化が出るように対応している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		ミーティングで丁寧に振り返りをしている 子どもの様子を1人1人振り返り、記録に残している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		幼稚園、保育園や学校等に訪問し、保護者、スタッフに情報共有をしている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	関係機関連携で情報共有は行っている 必要としているご家庭があれば行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5		現状情報共有等は行っていないが、希望があった際には対応をしていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		定期的な見学をお願いして、療育の様子を見てもらっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		親子イベント等は行っているが、トレーニングの類は行っていない	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年2回の災害訓練を行っており、実態に合わせて方法の修正等を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	アレルギーは把握しているが、食事提供はなし	アレルギーに関して医師との連携は行っていない為、指示書に基づく対応の事例なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI南千住教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2025年 12月6日		2025年 12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	面談や子育てに関する助言等の支援を保護者様の希望に応じて行っている	毎月保護者様に向けて家族支援の面談や関係機関連携を希望するかアンケートをとり、希望に応じて実施している。	家族支援や関係機関連携の目的や概要を明確に示し、保護者様にも意図をご理解いただいた上で支援を進め、意義のある支援を行っていく。
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。	毎日掃除・消毒を行い、清潔な教室の維持に努めている。	日々の掃除・消毒に加え、定期的に普段できない部分の掃除や修繕等を行っていく。
3	保護者様に向け、支援プログラムや個別支援計画等について丁寧に説明を行っている。	個別支援計画や支援プログラム等に関しては丁寧に説明を行った上で、保護者様の質問や意見も聞くように努めている。	引き続き丁寧な対応や説明に努め、わかりづらいところや質問が出やすいところに関してはよりわかりやすい説明を心がける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高学年のお子様に対するサービス提供においてニーズに合わせた支援がやや不足している	年々低学年の利用者様が增加しており、基礎的な運動機能の定着のためのプログラムの割合が増加している。	同じ活動の中でも個々の習得段階に合わせていくつかパターンを用意するなど、高学年のお子様のニーズにも合うサービス提供をしていく。
2	声掛けが強く聞こえる場面があるなど、こどもの特性等に応じた専門性のある支援がやや不足している	今年度新たに当教室に勤務し始めた職員が複数おり、お子様の特性理解や支援について、理解を深めている途上であること。	日々の支援の中でさらにお子様の特性理解を深めるとともに、支援方法については社内外での研修でさらに質の向上をしていく。
3	活動プログラムが年間で見ると同じことの繰り返しのように感じる	基本的なプログラムは運動機能の定着のために固定をしている。	現在は創作やイベントで変化が出るように対応しているが、今後も創作やイベントを積極的に取り入れたり、同じ運動でも習得度合いに応じて段階をつけて変化を付けるなどの工夫をしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI南千住教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 51

回収数 : 23

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	0	0	・子供が高学年になり、体格が大きくなってくると少し教室が狭いように感じる。	貴重なご意見ありがとうございます。スペースを有効活用しながら、活動できるよう引き続き、工夫して取り組んでいきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	3	0	0	・足りないと感じる時がある ・当日分の療育の内容が書かれていないので人手不足なのかと感じた	貴重なご意見ありがとうございます。お子さまの安全を第一で動いている為、すぐに記入ができない日があることもご理解いただけますと幸いです。できる限り保護者様に当日の様子をお伝えできるよう、改善・工夫を行っていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	6	0	0	・危険な時以外でも怒っている風に見えることがある	貴重なご意見ありがとうございます。声掛けに関して、職員間で振り返りを行い、改善を図っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	3	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	4	1	0	・月ごとには変わっているが、年間で見ると同じ内容を繰り返している気がする	貴重なご意見ありがとうございます。現在は創作やイベントで変化が出るように対応していますが、今後も創作やイベントを積極的に取り入れたり、同じ運動でも習得度合いに応じて段階をつけて変化を付けるなどの工夫をしていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	5	10		
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	2	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	7	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	5	1	1	・希望すれば面談してくれる	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	3	1	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	7	6		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4	1	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	4	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2	0	2		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	7	0	0	タクミの中で友達との関わりが学べるの良い	貴重なご意見ありがとうございます。楽しみながら通っていただく中で、関わりが学べるよう引き続き支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	4	0	0	通所している回りのお子さんが低学年が多く、高学年になるとニーズに合っているのか疑問に思うときがある	貴重なご意見ありがとうございます。同じ活動の中でも、内容に変化をつけて対応ができるよう工夫していきます。

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	TAKUMI南千住教室				公表日	2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		教室が狭く感じるときには、運動の中で人数を分けたりルールの変更を行ったりして安全に取り組めるよう、対応している	プログラムによって長さや幅が足りないと感じるときもある 利用人数が多いとき、少し狭いと感じることがある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日消毒、掃除を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1			
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切 な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		家族支援や関係機関連携等での面談も行っている為、ニーズに沿えるよう支援を進めている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		ミーティングで計画内容を再確認しながら行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		標準化されたアセスメントツールはないので、作成を検討	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月のイベントの案をスタッフで話し合いをしている		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		基本的なプログラムは運動機能の定着のために固定をしているが、創作やイベントで変化が出るように工夫・対応している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		基本的に個別活動はやっていない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		クール終了後に子どもの様子を1人1人振り返り、記録に残している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分で考えることができるように声かけをし手促したり、必要以上に指示をしないよう支援している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関連携で行っている 学校に訪問をし、保護者、スタッフに共有をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	関係機関連携で行っている 関係機関連携で過ごしている様子や困りごとについての情報共有は行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		事例なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			対応は都度行っているが、場面によってはもう少し迅速に対応できる部分がある
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	アレルギーは把握しているが、食事提供はなし	アレルギーに関して医師との連携は行っていない為、指示書に基づく対応の事例なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				